



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年10月31日

上場会社名 三菱化工機株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6331 URL <http://www.kakoki.co.jp>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 高木 紀一
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 山口 和也 TEL 044-333-5354
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月10日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

百万円未満切捨て

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績（平成28年4月1日～平成28年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	14,143	△4.1	△79	ー	△318	ー	△311	ー
28年3月期第2四半期	14,752	9.7	347	109.3	23	△92.0	△70	ー

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 111百万円 (ー%) 28年3月期第2四半期 △430百万円 (ー%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	△3.94	ー
28年3月期第2四半期	△0.89	ー

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第2四半期	36,458	15,529	42.6	196.43
28年3月期	41,211	15,813	38.4	200.02

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 15,529百万円 28年3月期 15,813百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	ー	0.00	ー	5.00	5.00
29年3月期	ー	0.00	ー	5.00	5.00
29年3月期(予想)	ー	0.00	ー	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

平成29年3月期の連結業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	37,000	△5.9	850	△52.3	700	△55.1	430	△62.6	5.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 無

④ 修正再表示： 無

(注) 詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

29年3月期2Q	79,139,500株	28年3月期	79,139,500株
29年3月期2Q	80,179株	28年3月期	80,007株
29年3月期2Q	79,059,378株	28年3月期2Q	79,060,936株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対するレビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、雇用・所得環境は改善が続きましたが、円高の進行に伴う企業収益改善の鈍化に加え、新興国経済の減速や英国のEU離脱問題など海外経済の先行き不透明感の高まりもあり、民間設備投資は落ち込み、個人消費も伸び悩み等、景気は停滞が続きました。

このような事業環境の下、当社グループの当第2四半期連結累計期間における売上高は、14,143百万円と前年同四半期に比べ4.1%の減少となりました。損益面におきましては、売上高の減少、見積設計費や研究開発費をはじめとした販売費及び一般管理費の増加もあり、当第2四半期連結累計期間における営業損失は79百万円（前年同四半期は347百万円の利益）となりました。また、保有する外貨建て資産に対する為替差損により経常損失は318百万円（前年同四半期23百万円の利益）となり、法人税、住民税及び事業税、並びに法人税等調整額を減算後の親会社株主に帰属する四半期純損失は311百万円（前年同四半期は70百万円の損失）となりました。

なお、当社グループでは、売上高が上半期に比べ下半期に、また、第2四半期連結会計期間末及び連結会計年度末に偏る傾向があります。

セグメントの業績は次のとおりであります。

エンジニアリング事業については、売上高8,150百万円（前年同四半期比7.6%減少）、営業損失727百万円（前年同四半期は435百万円の損失）となりました。

単体機械事業については、売上高5,993百万円（前年同四半期比1.1%増加）、営業利益647百万円（前年同四半期比17.3%減少）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ4,752百万円減少の36,458百万円となりました。これは、現金及び預金の増加424百万円、仕掛品の増加564百万円等がありました。受取手形及び売掛金の減少5,774百万円等の影響によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ4,469百万円減少の20,928百万円となりました。これは、電子記録債務の増加1,255百万円、長期借入金の増加500百万円等がありました。支払手形及び買掛金の減少5,085百万円、その他流動負債の減少470百万円、前受金の減少220百万円等の影響によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ283百万円減少の15,529百万円となりました。これは、退職給付に係る調整累計額の増加192百万円、その他有価証券評価差額金の増加145百万円等がありました。配当金の支払い及び、親会社株主に帰属する四半期純損失等による利益剰余金の減少706百万円等の影響によるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、固定資産の取得等に資金を使用いたしました。営業活動及び借入金の調達等により資金を獲得した結果、424百万円の増加となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により獲得した資金は、560百万円となりました。これは、税金等調整前四半期純損失の計上301百万円、仕入債務の減少3,818百万円、前受金の減少218百万円、たな卸資産の増加622百万円等により資金が減少いたしました。減価償却費297百万円、売上債権の減少5,763百万円等により資金が増加したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動に使用した資金は、133百万円となりました。これは、主に固定資産の取得174百万円により資金が減少したことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により獲得した資金は、94百万円となりました。これは、配当金の支払額395百万円等により資金が減少しましたが、長期借入金の増加500百万円により資金が増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の経済動向につきましては、景気が緩やかな回復に向かうことが期待されますが、円高による収益圧迫懸念や海外経済の不透明感の高まりにより、企業は設備投資への慎重姿勢を強めており、また、個人消費も停滞していることから、景気の先行きは予断を許さない状況が続くものと見込まれます。

通期の連結業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間の業績及び上記の経済動向を鑑み、平成28年5月13日に公表した平成29年3月期の連結業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日（平成28年10月31日）公表いたしました「平成29年3月期第2四半期連結累計期間業績予想と実績値との差異及び通期連結業績予想数値の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用）

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4年1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

この変更が当第2四半期連結累計期間の営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,734	5,159
受取手形及び売掛金	17,647	11,873
製品	761	816
仕掛品	1,639	2,204
材料貯蔵品	942	944
その他	1,355	1,305
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	27,080	22,303
固定資産		
有形固定資産	4,822	4,699
無形固定資産	350	330
投資その他の資産		
投資有価証券	8,763	8,942
その他	200	188
貸倒引当金	△6	△4
投資その他の資産合計	8,958	9,126
固定資産合計	14,131	14,155
資産合計	41,211	36,458
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,088	5,003
電子記録債務	—	1,255
1年内返済予定の長期借入金	200	200
未払法人税等	243	45
前受金	1,014	794
賞与引当金	606	520
完成工事補償引当金	137	105
受注工事損失引当金	19	20
その他	1,206	735
流動負債合計	13,516	8,681
固定負債		
長期借入金	2,600	3,100
役員退職慰労引当金	111	74
P C B 処理引当金	17	17
退職給付に係る負債	7,947	7,766
その他	1,205	1,289
固定負債合計	11,880	12,247
負債合計	25,397	20,928

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,956	3,956
資本剰余金	4,202	4,202
利益剰余金	7,429	6,722
自己株式	△18	△18
株主資本合計	15,570	14,864
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,878	3,023
繰延ヘッジ損益	13	1
為替換算調整勘定	△126	△29
退職給付に係る調整累計額	△2,522	△2,329
その他の包括利益累計額合計	242	665
純資産合計	15,813	15,529
負債純資産合計	41,211	36,458

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	14,752	14,143
売上原価	11,950	11,308
売上総利益	2,801	2,835
販売費及び一般管理費	2,453	2,915
営業利益又は営業損失(△)	347	△79
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	116	112
その他	13	0
営業外収益合計	130	114
営業外費用		
支払利息	23	17
支払手数料	33	31
為替差損	382	294
その他	15	8
営業外費用合計	454	352
経常利益又は経常損失(△)	23	△318
特別利益		
投資有価証券売却益	—	35
特別利益合計	—	35
特別損失		
投資有価証券評価損	—	18
特別損失合計	—	18
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	23	△301
法人税、住民税及び事業税	26	37
法人税等調整額	67	△27
法人税等合計	93	10
四半期純損失(△)	△70	△311
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△70	△311

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
四半期純損失(△)	△70	△311
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△726	145
繰延ヘッジ損益	6	△12
為替換算調整勘定	164	97
退職給付に係る調整額	194	192
その他の包括利益合計	△360	422
四半期包括利益	△430	111
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△430	111
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	23	△301
減価償却費	293	297
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△2	△2
賞与引当金の増減額(△は減少)	△44	△85
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△6	△16
完成工事補償引当金の増減額(△は減少)	△2	△31
受注工事損失引当金の増減額(△は減少)	56	2
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△131	△36
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	27	12
受取利息及び受取配当金	△117	△113
支払利息	23	17
為替差損益(△は益)	294	212
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△35
投資有価証券評価損益(△は益)	—	18
売上債権の増減額(△は増加)	1,941	5,763
たな卸資産の増減額(△は増加)	△488	△622
前渡金の増減額(△は増加)	△624	△19
仕入債務の増減額(△は減少)	△3,233	△3,818
前受金の増減額(△は減少)	1,363	△218
その他	524	△346
小計	△102	675
利息及び配当金の受取額	117	113
利息の支払額	△23	△17
法人税等の支払額	△132	△210
営業活動によるキャッシュ・フロー	△141	560
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	△189	△174
投資有価証券の取得による支出	△3	△4
投資有価証券の売却による収入	—	42
長期貸付けによる支出	△2	△0
長期貸付金の回収による収入	1	1
その他	△1	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△193	△133
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△1,000	—
長期借入れによる収入	—	500
リース債務の返済による支出	△8	△10
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△395	△395
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,404	94
現金及び現金同等物に係る換算差額	△135	△96
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,875	424
現金及び現金同等物の期首残高	7,556	4,733
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,681	5,158

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自平成27年4月1日至平成27年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント		合計
	エンジニアリング事業	単体機械事業	
売上高			
(1) 外部顧客に対する売上高	8,825	5,926	14,752
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	8,825	5,926	14,752
セグメント利益（△は損失） （営業利益（△は損失））	△435	783	347

II 当第2四半期連結累計期間（自平成28年4月1日至平成28年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント		合計
	エンジニアリング事業	単体機械事業	
売上高			
(1) 外部顧客に対する売上高	8,150	5,993	14,143
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	8,150	5,993	14,143
セグメント利益（△は損失） （営業利益（△は損失））	△727	647	△79

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結累計期間より当社グループの経営管理指標を経常利益から営業利益に変更したことに伴い、セグメント利益を経常利益から営業利益に変更しております。

また、前第2四半期連結累計期間のセグメント利益又は損失については、上記の変更を踏まえて作成した情報を記載しております。